

- ロックダウン(都市封鎖)のもとで急増する女性へのDVと各国の取組
- コロナ離婚・コロナ DV の当事者にならないために
- 営業自粛がもたらす働き方改革
- インフォメーション
- パパズ・スタイル～男性の「家事」「育児」をみんなで応援～を覗けば
- 編集後記

かがやけ地球



藤 沢 市

ロックダウン(都市封鎖)のもとで急増する女性へのDVと各国の取組

- パリでは外出制限開始1週間で警察へのDV通報件数が前月比で36%増加(フランス) <2020.3.31 TIME>
- ロンドンでは3月9日~4月19日にDVによって逮捕に至った事件が4,039件(イギリス) <2020.4.25 NHK NEWS WEB>
- 3月20日の外出禁止令発令以降、最初の20日間でパートナーや元パートナーに殺害された女性は18人(アルゼンチン) <2020.4.20 jiji.com>
- ニューヨーク州ではDVホットラインへの4月の相談件数が前年度の同時期より3割増加(アメリカ) <2020.4.25 NHK NEWS WEB>

家庭内暴力(DV)が世界各国で深刻な問題になっている。

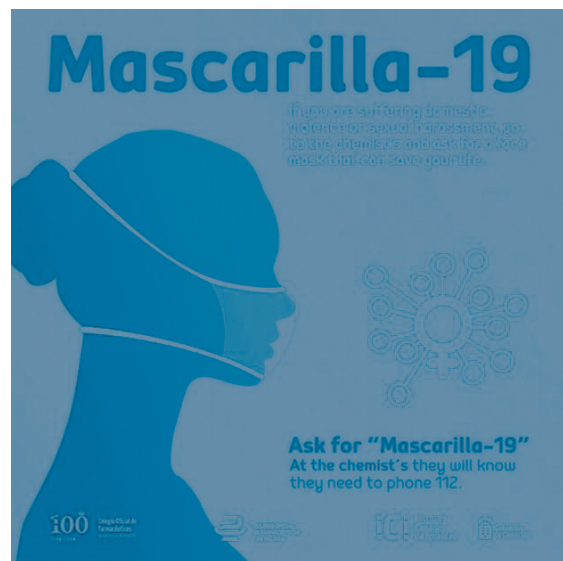
新型コロナウイルスの感染拡大防止による外出制限の措置が取られたことで、外出できないストレス、休業、失業による経済的不安などからパートナー、特に女性へのDVが増えているのだ。

4月6日(日本時間)、国連のグテーレス事務総長が声明を出した。「暴力は戦場に限ったことではありません。多くの女性や女兒にとって最も安全であるべき場所の家庭内で暴力の脅威にさらされています。私は世界中の家庭内での平和を訴えたい。全ての政府に新型コロナウイルス感染症の応急対応として女性に対する暴力の防止と救済を要請します。」

DVの増加に対して各国は対策に乗り出した。そのうちの1つがスペインで始まり、イギリス、フランスでいち早く広がった、いわゆる「マスク19」だ。都市封鎖の状況下では食料品や医薬品を購入するための外

出は許されている。そこで薬剤師の団体、ドラッグストアのチェーンが連携し、DV被害者がドラッグストアを通じて警察に通報できるシステムを立ち上げたのだ。薬局に来た被害女性が店員に「マスク19をください」と告げる。これは「助けてください」を意味し、これを受けた店員は警察に通報。加害者が横にいた場合でも、気がつかれることなく助けを求めることができる。

一方で都市封鎖によって外にも出られない、パートナーによる完全な監視下に置かれている被害者もいる。フランスでは日本の110番にあたる警察への電話は17番、配偶者間の暴力による被害女性向けの3919番に加えて、メッセージだけで助けを求められる「114」がある。本来は聴覚障がい者向けの緊急番号だが、外出制限によるDVの増加に対応するため利用可能になった。さらにフランス政府はDV被害女性のためにホテルの部屋を2万泊分用意すると発表した。



マスク19の啓発ポスター

(出典: Instituto Canario de Igualdad (ICI))

OECD(経済協力開発機構)の報告書には「新型コロナウイルスの感染拡大は、健康、社会的幸福、経済的豊かさを世界的に傷つけており、その被害の中心にいるのは女性である。根本的に、危機に対するあらゆる政策対応にはジェンダーという視点を埋め込み、女性特有のニーズ、責任、ものの見方を考慮に入れなければならない」と言及している。<OECD: Policy Brief日本語版「新型コロナウイルス危機との闘いの前線にいる女性たち」>

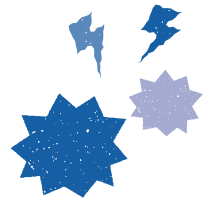
ジェンダーギャップ指数8位のスペイン、事実婚が多く個人を尊重するイメージがあるフランス(同15位)でもDVは深刻な状況であることに不思議に思った人もいるかもしれない。家庭が「最も安全であるべき場所」であることを「ステイホーム」の今こそ組織、個人で考えてみる必要があるのではないだろうか。

(佐野 記)

コロナ離婚 ・コロナDV

の当事者に
ならないために

年明け間もない1月8日、原因不明の肺炎患者が出始めたとの新聞記事があった。それから半年たった今も、関連報道が流れ、人々の生活や命への不安がつのる。新型コロナウイルスが原因と判明し、その感染防止対策が次々に講じられた。命と生活を守るために外出自粛、3密などが連呼され、その中にはコロナ離婚、コロナDVの文字もあった。



■ コロナ離婚、コロナDVは、どうして起こるのか。

結婚生活を何十年も平和に過ごすことは至難なことだろう。

平穏無事、安全な家庭生活を営むために人々はあれこれ考えながら日常を送っている。しかし、その日常がコロナウイルスによって崩壊した。これまでの知恵や経験が全く通用せず、日々の生活維持にも不安が付きまとう。命の不安、経済の不安、家族間不信などから、不安材料は積み重ねられ、ストレスで思考能力が奪われる。『もっと速く』『もっと便利に』を良しとしてきた従来の暮らしが、スローライフへ切り替えられたのだ。スローライフでの生活経験を持たぬ人々は、ストレスが蓄積し、やたらと怒りが増す。その果てに暴力・暴言など、DVへ至る。また、3密防止のためのステイホームだが、家族と密接状態になった。これまでより近い距離感が今まで見えなかった互いの欠点を浮き彫りにし、許容できずにストレスとなり、離婚へと誘われる。

■ 気持ちを整え、ストレスと付き合う

このDVや離婚の原因となる「ストレス」解消方法を考えてみた。以下は日々私が取り組んでいるものである。気持ちを整えるトレーニングにはヨガ、瞑想、座禅などもあるが、ラジオ体操同様、日常でできることを考えた。

緊急事態宣言もようやく解除となり、図書館も休館を終えて本を借りることができるのは、私にとって非常に嬉しい。緊急事態宣言が解除となっても、時間の使い方を再度見直し、気持ちを整える方法を知ること、社会の変化に戸惑わず、過剰な不安に陥らないようにもできる。

緊急事態という非常時、誰もが少なからずストレスを感じていることだろう。ストレス解消方法などは、この状況が終わってからも引き続き活用できるので、この機会に自分なりのストレスとの付き合い方を見つけてもらいたいと思う。

(山口 記)



気持ちを整える トレーニング

- *朝夕の深呼吸(5分前後)体内の空気を入れ替え、気分転換をする。
- *メモを記す。その日の心の動き等を細かく記録する。翌日読み返し、何に怒り、不安、不満を覚えたのか反省反芻する。
- *映画鑑賞や読書等の感想を家族で話し、話題を共有する。
- *古典落語視聴。笑いは免疫力向上に効果大。家族で合同視聴したら最高のメンタルケアに!



営業自粛がもたらす働き方改革

新型コロナウイルスへの対応がさまざまに行われている中、「緊急事態宣言」による営業自粛を機に従来の働き方が見直され、「仕事と仕事以外の生活の充実」をめざすワーク・ライフ・バランスが進展することを強く期待する。

01 働き方改革 居酒屋の営業自粛とライフサイクルの見直し

☆夜遅くまでが当たり前の居酒屋。“閉店を早めれば商売にならない”と、これまでに幾度か聞くことがあった。だが、主なターゲットである会社帰りのお客さんの終業が早くなることでお店を訪れる時間も早くなれば、より早い閉店も可能になるのではないかと。宣言の要請に応えたように夜8時に、あるいは9時頃までに営業を終えれば、健康面も改善され、家族との時間ももっと持てるようになるだろう。

☆「免疫系の働きを悪くしない生活」のためには「ストレスをためない・酒を飲み過ぎない・禁煙・運動・栄養バランス・十分な睡眠」が必要だというが、多くの人が“夜遅くに腹いっぱい、朝食抜きで出勤”といった生活ではないだろうか。こうした生活は、免疫力の低下や疾病を誘引する原因ともなるし、公私いずれかで緊急の要件が発生したときに対応する余力がないといった事態も引き起こす。働き方と合わせて、今後改善していくべき慣習だろう。

02 働き方改革 テレワークの活用と終業改革

☆過密防止のため出社自粛の“テレワーク（在宅勤務）”。私は初めて知った言葉だが、今回のコロナ禍を受けて緊急的に始まり一部は定着しそう。ただこのままだと、家で“終業時間の来ない（定まらない）勤務”という事態も考えられるだけに、明確な形で「適切な終業のしかた」を決めねばならないといえる。このことは、終業時間改善への絶好の機会となるのではないかと。

その関連で一つ必要なのは、私たち一人ひとりが「買い手となった途端に無理を言う“顧客習性”、いわゆる“お客様第一主義”」を省みることではないだろうか。それに応える間に企業力が上がることも否定しないが、お互いに目標時間を超えないよう心掛けたい。働く現場が見えないテレワークでは特にそれが言えそう。

03 働き方改革 医療、看護等分野でも

☆今回のような緊急時を見据えた医療態勢や設備機器など“医療インフラ”を見直さねばならないことや、新しいスタッフでも早く力になれるよう機器の簡易化・標準化や、“オンライン診療”による負担軽減など、新しい働き方にもつながるものが、今回多々明らかになった。この経験はこれからの生きるものになることだろう。

“改革は徐々には出来ない”とある企業トップの話として聞いたことがあるが、何か差し迫った時こそ改革のチャンスなのだろうと感じた。

(前田 記)



パパでなくても
ママでなくても!

パパス・スタイル

～男性の「家事」「育児」を
みんなで応援～を覗けば



突然の一斉休校、外出自粛、行動変容・・・

これまで考えたこともなかった事態に、戸惑いながらも現実と向き合い道を拓かなければならない今、暮らしの中で始められることは何だろうかと思案の日々。日常を営むために暮らしを見直す必要があるときだからこそ、私たち一人ひとりにとっての「新しい生活様式」を探ってみませんか。



「パパス・スタイル」は、男性の家事・育児参画を“応援”するWEBサイトです。

東京都の

男性が家事・育児に積極的に取り組むことができるよう、さまざまな情報が発信されていますが、男性のみならず女性にとっても暮らしに役立つノウハウやヒントが盛りだくさん。また、講演会やシンポジウムで今知りたい男女共同参画の在り方を聞けたり、実態調査のデータを閲覧することができたりなど、男女共同参画をより身近に感じることのできるコンテンツを提供しています。昨年のインタビューにはテレワークを利用して働く男性の記事も。等身大の家事・育児スタイルを作っていくことが持続可能な暮らしにつながるという「パパス・スタイル」の提言のとおり、いろいろな人の多様な取組に触れられます。

“コロナ以前 コロナ以後”という言葉を目にするようになりましたが、働き方・生き方にはかねてより少しずつ変化がみられ

るようになりました。ワーク・ライフ・バランスの理解が進み、自分らしく生きるための男女共同参画社会が徐々に浸透しつつあります。その男女共同参画社会が、未知のウイルス禍という困難を凌ぐ一手になりうるということは「パパス・スタイル」からもわかります。助け合い、支え合うことで前向きに日常を生きられるというメッセージを、たくさんの試みのなかに感じることができるからです。男女共同参画とはそれぞれが持てるちからを集めるということなのだ、改めて思います。「新しい」かどうかはさておき、「パパス・スタイル」にみられる取組を私たちの「生活様式」に取り入れたなら、暮らしは大きな変化を遂げるでしょう。危機を乗り越えつつ、大きな一歩を踏み出すことが今ならできるかもしれません。(鈴木 記)

- ・過労による人材消耗を防げば、病も減り、創造力も豊かな社会になるかも・・・と想像が膨らむ。(前田)
- ・ベランダの枯れ鉢から新芽が。日毎に伸びて、ある日突然開花。命の輝きに思わず、ありがとうの一言を。(山口)
- ・ステイホーム。我が家で12年眠っていたBBQグリルが大活躍。(佐野)
- ・オンライン〇〇は数あれど「生」のぬくもりに勝るものなし、と知る喜び。(鈴木)

インフォメーション

6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」です。



国では1999年6月23日に施行された男女共同参画社会基本法の理解を深めるため、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」としています。

男性も女性も性別に関わらず、学校で、職場で、家庭で、地域で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、みなさん一人ひとりの取組が必要です。この機会に身近なことから男女共同参画について考えてみませんか？

1972年設立 JR/小田急線藤沢駅北口から徒歩3分

湘南合同法律事務所

弁護士 野村 正勝・中込 泰子・山森 良一・小池 拓也
川本 美保・太田 啓子・山本 大地・山本 有紀
弁護士/税理士・志田 一馨 ◆神奈川県弁護士会所属
東京地方税理士会藤沢支部所属

毎月/無料・市民法律講座開催中

<http://www.shonan-godo.net> 湘南合同法律事務所 検索

〒251-0052 藤沢市藤沢551番地1号 日進ビル7階 TEL.0466-25-3125

かがやけ地球は、市民の編集員さんの企画・運営によって、年4回発行しています。

編集スタッフ 鈴木 悠子・山口 千鶴子
前田 英孝・佐野 美穂子

ご意見・ご感想・今後扱って欲しいテーマなどをお待ちしております！

FAX 0466-50-3501

・E-mail fj-jinkendanjyo@city.fujisawa.lg.jp・

レディオ湘南の新しいキャラクターに就任

show chang

レディオ湘南で以前パーソナリティを務めて頂いたご縁で、イラストレーター/アートディレクターとして多彩な顔をもつ、安斎肇さんに書いて頂いたキャラクターです。

Radio Shonan FM83.1
RADIO SHONAN 83.1FM FUJISAWA
WWW.RADIOSSHONAN.CO.JP
TEL.0466-25-7000 FAX.0466-25-7511

藤沢の有隣堂《ご案内》

<http://www.yurindo.co.jp/>

藤沢店 \ 0466-26-1411
JR・小田急江ノ島線「藤沢」駅南口直結「フジサワ名店ビル」2・3・4・5階

テラスモール湘南店 \ 0466-38-2121
JR「辻堂」駅北口直結「テラスモール湘南」4階

藤沢本町トリアージュ白旗店 \ 0466-50-7550
小田急江ノ島線「藤沢本町」駅から徒歩5分

- 神奈川・東京・千葉に52店舗
- 学校・公共施設・法人への商品納入
- オフィス用品の通販
- オフィス設計・家具
- 出版事業
- 図書館・地区センターの運営
- 音楽教室
- カルチャーセンター

Printing Communications

あなたの町の印刷屋

まずはお気軽にご相談ください

有限会社 カワムラ印刷

Tel:0466-22-5431 ☎251-0021 神奈川県藤沢市鶴沼神明 4-12-23

藤沢商工会議所は

がんばる経営者の力強い味方です！

経営相談 **融資相談** **起業支援**

藤沢商工会館「ミナパーク」は、商工業者や市民の方々に幅広くご利用いただける会議室・多目的ホールをご用意。パーティー・飲食も可能です。

藤沢商工会議所
〒251-0052 藤沢市藤沢607-1 藤沢商工会館ミナパーク2階
TEL.0466-27-8888(代表) 0466-29-3789(貸会議室専用)
URL <http://www.fujisawa-ccl.or.jp>

会員募集中!